

問 マーケティングに関する提案について

答 地域経済の活性化を
検討実施していく



船野 章 議員

問 私どもの会派では、銀河連邦のパートナーである鹿児島県肝付町を視察した。九州南端の小さ

な街だが、町長の肝入りで「だいたい」の固有種を産学官で商品化を模索している現実を目的の当りにした。

だいたいを絞り、焼酎の肴として味を工夫した物にして調味料、ジュースに加工販売を手がけていたのである。

また絞り粕は、養殖力

ンパチに与え、特有の生臭さを解消し全国からの注文に対応しきれないと云うものだった。

そこに至るまでの経緯については、生産者、加工業者、行政が一体となつて取り組んだことが判明したのである。

そこで、当市の特産物生産物の売込みを当市独自のトップセールスを如何にしていく考えか伺う。

答 市長 当市における特産品等の販売は、市と観光物産協会等が分担し、首都圏出張や、幕張

での三陸食品見本市支援等様々な取組をしてきた。ところが、震災による原料不足等の要因や施設の再建に時間がかかり、販路が失われ、回復が課題になっている。

復興後の地域経済を持続させ、震災以前よりも元気にしていくためには、提案のあったトップセールスを始め、特産物の売り込み強化は、必要と考えている。販路拡大について情報収集、分析と共に地域経済の活性化や底上げを検討実施していきたい。

この三陸食品見本市支援等様々な取組をしてきた。ところが、震災による原料不足等の要因や施設の再建に時間がかかり、販路が失われ、回復が課題になっている。



市の特産品の販路拡大を



通学の足、スクールバス

問 中学校統合に伴うスクールバス安全運行策は

答 一般貸切旅客運送業者と
会合口を持ち検討する



東 堅市 議員

問 第一中学校と吉浜・越喜来・日頃市中学校の統合まで一年余りと迫っている。統合推進協議会

はこれまでに5回開かれ、丁寧な話し合いをしながら課題を解決してきている。その中で、「生徒の登下校の安全確保」は、今後の最重要点として捉え、対策を考える必要があると思ふが、どのように考えているか伺う。

答 次長 現在、当市のスクールバスの運転手は、

日本自動車運行管理協会に加盟している県内の運行事業者で確保することになっている。中学校統合後は、市内の一般貸切旅客運送業者の方々から陳情書の提出を受けていることもあり、話し合いの場を設けながら、より安全な運行を検討する。

職員の綱紀粛正や
資質向上の研修計画は

問 今回の不祥事への市議会からの申入れに対し「倫理・法令遵守、組織運

営等に関する研修を計画的に実施し、職員の資質向上に努める」と回答しているが、計画は出来ているか。

答 部長 現段階で具体的な計画を示せないが、構想としては公務員倫理や法令順守意識の醸成、あるいは財務事務に関する知識など、市職員としての基本的資質向上のための研修機会を設けたいと考えている。今年度中に、若手職員を対象に、来年度の早い時期には管理職を中心職場改善の手法を学ぶ研修を考えている。



学校図書館の機能充実

問 地方自治体の最大の強みは住民に最も身近な存在であることで、そこが一切の出発点だが、こ



三浦 隆 議員

問 協働のまちづくりへの望ましい組織、人材は

れを活かすためにどのような組織をつくり、人材を育てていくか伺う。

答 市長 今後の高度化、多様化する市民ニーズに行政が全て対応することは困難となることから、外部との協働が不可欠になる。市民の主体的な活動を促進し、多様な新しい公共の担い手との

連携や協働を深める。それに見合った部局間の横断的連携が可能な組織を作り、役所の意識改革を進める。

学校図書館の機能の充実

問 当市は市民文化の創造を市民憲章の第一にうたっている。様々な情報媒体がある中で、生涯学習の初期段階の義務教育課程でいかにして読書の習慣を持続し、発展させていくかが重要であり、教育施策、文化施策の充

実は地域づくりのかなめであることから学校図書館の充実について現状を伺う。

答 教育長 学校図書館では蔵書数は文科省の定める標準を超えている。また一定規模の学校には司書教諭や図書ボランティアを配置して環境整備に努めている。児童生徒に対しては計画的な指導により読書意欲の向上に努め、一定の効果をあげている。(他に行政評価システムについて質問)

問 地域振興に県との取組や連携をいっそう密に

答 県と各般の施策をすり合わせ協働し推進する



今野善信 議員

問 産業振興に努め、若年層の地元定着やU・Iターン、移住の促進や観光産業の振興等による交

流・関係人口の拡大を図ることは、当市の発展にとって重要な課題であり、県との取組や連携をいっそう密に進めるべきであると思うが、当市の対応について伺う。

答 統括監 県の次期総合計画では「新たな交通ネットワークや様々なつながりを生かした新しい

三陸の創造」を指すとしている。当市においては、三陸沿岸道路を含む広域幹線道路とコンテナ航路が地域振興や産業振興につながるものと考え

ており、関連する各種の基盤を整え、民間事業者などの活動を後押しし、優位性、優れた地域資源などをアピールしながら振興を図っていきたい。

また、県内陸部と当市を結ぶ「横軸」ルートの道路改良整備が重要であり、県との連携は必須である。引き続き、県と各

問 子育て世代へのセンターの支援を具体的に伺う。

答 部長 センター内に保健師と助産師等を配置し、妊産婦訪問・保健指導、支援プランの策定等を行い、各種相談機能を充実する。さらに、医療機関等との連絡調整を行い、連携を図る。



内陸部への道路改良も課題